

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和2年8月7日（金）10時30分～11時35分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、宇野課長補佐、知見主任安全審査官、松井安全審査官、伊藤係長、市森係員、長崎技術参与、高木技術参与

福島第一原子力規制事務所

田中原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当6名（テレビ会議システムによる出席）

## 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、以下の説明があった。
  - 5月22日に発生したサブドレン他浄化設備前処理フィルタ2Bの保温材下部からの水の滴下事象を受け、同設備のB系統前処理フィルタの応急補修及びA系統前処理フィルタの状況確認を行った。
  - B系統前処理フィルタの応急補修として、腐食孔が深い箇所については、貫通孔の補修又は漏えい発生の防止を目的に接着材（ペロメタル）と接着材含浸ガラスクロスを用いた補修を、腐食孔が浅い箇所については、腐食の進展防止を目的にタッチアップ塗装による補修を実施した。また、応急補修に併せ、ガルバニック腐食対策として異種金属間絶縁処置を行った。8月6日に作業完了、同日系統水張／漏えい確認を行い、漏えい等の異常が無いことを確認した。
  - A系統前処理フィルタについて、フィルタ2A及び3Aの内面確認の結果、それぞれ数箇所ですラッジ塊を確認した。これらスラッジ塊が胴体や上蓋の腐食による生成物であるかは不明だが、仮に腐食生成物であっても、A系統には異種金属間絶縁処置を施しているため、B系統のような腐食の加速はないものと考えている。今後、フィルタ交換の際に内面確認を実施するとともに、B系統の復旧工程や大雨シーズンを考慮し、詳細点検や補修の時期を検討する。
  - 現在はA系統にてサブドレン他くみ上げ水の処理を行っているが、①トラブル等によりA系統前処理フィルタが使用不可となった場合や②台風時等、サブドレン他くみ上げ水の集水タンク空き容量が無くなり2系列（A・B系統）での浄化が必要となった場合は、応急補修を実施したB系統前処理フィルタを一時的に使用する。B系統前処理フィルタの運用に当たっては、通常の現場パトロールによる確認に加え、設備主管箇所による運転状態の確認を実施する。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認した。

## 6. その他

資料：

- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2020年7月31日～2020年8月20日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2020年7月31日～2020年8月6日）
- 【サブドレン他浄化設備前処理フィルタ2B保温材下部からの滴下事象】B系統前処理フィルタの応急補修およびA系統前処理フィルタの状況について